

2018年度

中野弘一 医師

~4~

40歳代の女性が不眠についての相談のため心療内科にみえた。この頃怖

睡眠は一時間半毎にノンレム睡眠七十分とレム睡眠二〇分を繰り返し、

睡眠構築は眠り始めて早く朝方にかけて徐々に浅くなつていて、これが正常な睡眠である。睡眠構築がしつかりしていれば、覚醒する直前はレム睡眠が続いていることに

まいそうになつていることになる。

彼女の生物学的な意味での睡眠構築は障害されないので、睡眠導入薬を差し上げるだけではよい睡眠が成就しないことがわかつた。夜取り残された感じの不安を軽く思つた。

不安な気持ち 睡眠の妨げに

するための心療内科で相談を今後続けていくことにした。なぜ睡眠が障害され始めたかの理由はわかつてきたので、これからよくなつていく見通しがたつた。彼女はきっとよく眠れるようになると

い夢を見て途中で目が覚める。目が覚める時間は大体決まっていて夜の2時頃であるという。目が覚めると夫は眠っているので早く自分も眠らなければと焦りだします

睡眠構築は眠り始めて早く朝方にかけて徐々に浅くなつていて、これが正常な睡眠である。睡眠構築がしつかりしていれば、覚醒する直前はレム睡眠が続いていることに

しつかりしている可能性が高い。

彼女が睡眠途中で覚醒が起ると、夫の寝息が氣になる。寝息を聞いていると、寝静まつて自分で取り残されたような感じが強くなり、不安な気持ちになつていると考

えられた。このような寂しい気持ちや取り残されたような気持ちはもう味わいたくないと彼女は無意識に思う様になる。段々夜目が覚めることが怖くなり、心配が広がり始める。また途中で目が覚めると、次はなかなか眠れない症状が固定してし

